

鞆の暮らしを支える多様な実践から、 地域における「共存のかたち」を考える

港町として栄えた往時の景観を今に伝える鞆の浦。

観光地として賑わいを見せる一方、架橋問題を巡る議論や、

新たな資本の流入といった変化にも直面しています。

こうした揺らぎの中で、住民たちの暮らしを静かに支えてきたのは、

地域に根ざした多様な実践です。

それらの営みを手がかりに、

これからの地域における「共存のかたち」について考えます。

開催概要

日時 2026年 7 月 18 日(土)～ 19 日(日)

集合：7月18日（土）13:00 福山駅

解散：7月19日（日）16:20 福山駅

会場 広島県福山市 鞆の浦

定員 35名程度 ※先着順

プログラム（予定）

1日目

- ・25年度助成団体による成果報告
- ・講演：羽田 富美江氏
- ・パネルディスカッション
「鞆の暮らしを支える多様な実践」
- ・グループワーク
- ・懇親会

2日目

- ・エクスカージョン
－鞆まちづくり工房
－鞆の津ミュージアム
－鞆の浦・さくらホーム
- ・ラップアップ

登壇者



鞆の浦・さくらホーム
羽田富美江さん



鞆の浦・さくらホーム
鷺野太平さん



コト暮らし
長田涼さん



アイヤ節保存会
西原由弥佳さん

地域で活動する
実践者たちの
話に触れ、
一緒に考えます。

参加費

25・26年度助成先以外の方は参加費が必要です。

10,000円（宿泊・昼食・バス代など含む）

※ 25年度助成先は財団にて負担（各団体1名まで）

※ 26年度助成先は助成金から支出可能

申込締め切り

2026年 6 月 19 日(金)

申込フォーム

右記QRコードよりお申し込みください →

